

農地に残土運びこむ

善商の
疋田被告

山県市議会で明らかに

岐阜市椿洞で産廃を不法投棄し、岐阜地裁で実刑判決を言い渡された中間処理業者「善商」の疋田優被告(35)が、二〇〇〇年ごろ山県市の農地に建設残土を運び込んだことが、二十一日に開かれた山県市議会の一般質問で分かった。

旧高富町(現山県市)と原は、搬入中止と農地への復元を指導し、〇三年までにすべての残土が運び出された。甘い行政指導で不法投棄を許す格好となつた岐阜市の対応のまゝさがあらためて浮き彫りとなつた。

寺町知正氏(無所属)の質問に、鷲井勉助役が答弁した。答弁などによる弁明と、同市梅原のゴルフ場「岐阜国際カントリー俱乐部」のコース改変を目的とした工事に絡んで、

2005.12.22 中日

2005.12.29 朝日

ゴルフ場に隣接する農地約三千四百平方㍍に、二〇〇〇年八月ごろから疋田被告が中心となって残土の搬入を始めた。農地の転用手続きを怠るなど農地法違反が認められたため、県と高富町が工事の中止を指導。〇三年九月までに原状復帰させた。一方、産廃の搬入を中止する権限を行使しなかつた岐阜市は、第三者機関から「違法性が高い」と厳しく指摘されている。(坪井 千隼)

山県のゴルフ場に産廃

瑞浪投棄の業者も供述通り

岐阜県山県市のゴルフ場に建築廃材などの産業廃棄物が不法に埋められていることが二十八日、県の調べで分かった。同県瑞浪市の砂防指定地に産廃を不法投棄したとして廃棄物処理法違反の罪で起訴されている同原御嶽町の土木建設業「西部開発」代表、山本浩一郎被告(35)が同ゴルフ場でも不法投棄したと供述しており、県と県警は調べを進める。

県によると、同ゴルフ場は二〇〇二年十二月、普通林を造成してコースを新設する工事を始め、西部開発が工事を請け負っていた。

今年二月、森林法に違反し、無許可で普通林を

反し、無許可で普通林を伐採して、無許可で普通林を立入り検査していた」とするが、見抜けなかつた。県は今後、不法投棄された産廃の量などを調べるとともに、周辺の土壤や水質を検査する。

山本被告は、名古屋市北区の収集運搬業者「岡村建材店」代表と共に謀して、瑞浪市日吉町の砂防ゴルフ場が行った掘削調査で産廃の埋め立てが判明し、県も不法投棄を確認した。

産廃は造成の途上で不法投棄された可能性が高いとみられる。県岐阜地裁判所は、二〇〇〇年八月ごろから疋田被告が中心となって残土の搬入を始めた。農地の転用手続きを怠るなど農地法違反が認められたため、県と高富町が工事の中止を指導。〇三年九月までに原状復帰させた。一方、産廃の搬入を中止する権限を行使しなかつた岐阜市は、第三者機関から「違法性が高い」と厳しく指摘されている。(坪井 千隼)

寺町知正氏(無所属)の質問に、鷲井勉助役が答弁した。答弁などによる弁明と、同市梅原のゴルフ場「岐阜国際カントリー俱乐部」のコース改変を目的とした工事に絡んで、

2005.
12.29
岐阜

山県市不法投棄現場

はゴルフ場の一角。今月になって、会社側が復旧作業に先立つ掘削調査で現場を四カ所、約二㍍の深さまで掘つたところ、土中から木くずや廃プラスチックなどの建設系廃棄物が見つかって。県は、現場の開発工事を請け負った業者の聞べき取りや現場から流れ出る沢水、土壤の検査を行っている。